

◆モルタルラミテクト釘穴防水性試験

セーレン株式会社
ハウジング資材グループ

【記】

◎実験方法：合板に各モルタル用下地シートで包み、縁を防水テープで止め、上側にタッカー釘を打付け、下側にウッドブリーズ外断熱工法を模した模型を試験体としました。その試験体に豪雨を想定した散水を20分間行い、各釘部分への水浸入具合から防水性の評価を行いました。評価はシートを切り開いた時、合板の濡れ具合から判断します。

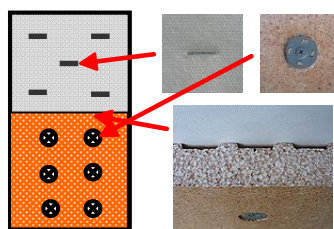
- ・実験条件：散水条件＝シャワー600mm/hを20分間
- ・モルタル下地シート：①モルタルラミテクト、②他社製透湿防水シート、③他社製改質アスファルトフェルト
- ・釘：御社支給ビス＝長さ74mm、径4mm（ワッシャー付き） タッカー釘＝マックス社製T3－10MB（足長10mm、幅12mm）
- ・試験写真

試験体



モルタルラミテクトの試験

ビス、タッカー施工部



ビスは断熱材の通気層部

シャワーリング



①モルタルラミテクト



②他社透湿防水シー

◎実験結果 他社透湿防水シー

	①モルタルラミテクト	②他社透湿防水シート
全体写真		
漏れ状態	<p>タッカー：少し染込みあり ビス：水浸入なし</p>	<p>タッカー：少し染込みあり ビス：小さな染込みあり</p>

◎総括

本試験を行った結果、モルタルラミテクトと他社製透湿防水シートを比較して、タッカーの防水性はほぼ同等であり、ビスでは優れている結果となりました。モルタルラミテクトはビスを打つ際、繊維が絡むため穴が塞がった結果かと思われます。

以上